

はつた



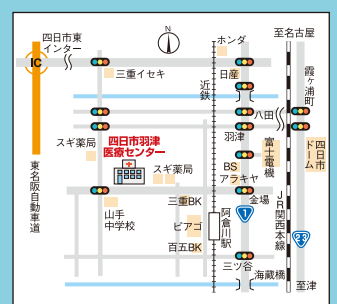
◆特集／医療アクション！
消化器内科
今号は、日本人の死因第1位
「悪性新生物」"癌"に注目したいと思います

病院と地域を結ぶ

はづナビ

VOL.48
令和7年1月発行

発行：四日市羽津医療センター
編集：四日市羽津医療センター広報委員会
〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号
TEL 059-331-2000
URL <https://yokkaichi.jcho.go.jp>
編集協力：TCK Nagoya



公共交通機関のご案内
●近鉄阿倉川駅より西へ徒歩約8分
●近鉄四日市駅よりタクシーで約10分
●三重交通バス羽津山経由Jヒルズ行(病院前下車)
●生活バス(四日市羽津医療センター下車)
●東名阪、四日市東インターから約10分



四日市羽津医療センター 検索

掲示板

Yokkaichi Junior Medical Rally

開催日
2025年3月16日(日)
12:30~17:00

第2回 よっかいち ジュニアメディカルラリー



高校生が医療や応急処置についての知識やスキルを身につけ「目の前で人が倒れていたら...」「交通事故を目撃したら...」など様々な医療想定場面をチームで乗り越えていくイベントです。

参加費 無料
対象 高校生
定員 最大12チーム
1チーム: 4~7名で構成
場所 四日市羽津医療センター
学習内容
◆心肺蘇生法
◆窒息解除
◆ケガの応急処置
◆災害時の対応 など

事前学習会
※下記12校の中から希望日2校を選択
2月 8日(土)9:00~13:00~
2月 9日(日)9:00~13:00~
2月 15日(土)9:00~13:00~
2月 16日(日)9:00~13:00~
2月 22日(土)9:00~13:00~
2月 23日(日)9:00~13:00~
主催：JCHO四日市羽津医療センター 協賛：市立四日市病院 後援：四日市市

イベント内容
事前に医療の知識や技術をまなびラリー当日は友達と協力しながらさまざまな医療想定場面を解決していく医療を体験体感できるイベントです。

編集後記
皆様明けましておめでとうございます。歳月の流れは早いもので令和7年を迎えました。最近ふとした時に空を眺めるようになりました。舞台のスクリーンのような雲一つない真っ青な空だったり、真っ赤に染まる夕焼け空だったり、龍が高高く昇るような雲があったり、想像力をはたらかせて眺めてみると穏やかな気持ちになります。よろしければ試してみてくださいね。

消化器内科



阪回 亮平医師

「日本人の死因第1位
「悪性新生物」癌について」

はじめに
2024年7月より消化器内科として赴任致しました阪回亮平と申します。私は2017年に三重大学医学部を卒業後、四日市羽津医療センターに就職し、2023年3月まで消化器内科として働いておりました。その後、2023年4月より紀南病院へ転勤し、1年3ヶ月の間、地域医療に従事してまいりました。ここでは、都市部のような支援体制は整っておらず、時に一人で診療にあたることもありました。その中で患者さん一人ひとりに適切で安全な医療を届けることを常に心がける力がつきました。また、より質の高い医療を提供するために、大病院との連携を強化し、専門的な治療や最新の医療情報が必要な場合でも、地域にしながら大病院のサポートを受けられるよう遠隔診療システムの導入に助力してきました(詳細が気になる方はYouTube「東海テレビNEWS ONE」チャンネルの「がん疑いの小さな病変も発見：...過疎

はづナビ 冬号

2025

特集 医療アクション

2~4P

消化器内科

院内外のホットニュース 5・6P

◆教えてコーナー

健康にまつわる選りすぐりの知恵 7・8P

◆ホッ!得 今回のお題【肝臓の硬さを超音波エラストグラフィでチェックしよう】

◆私が伝えたい!はづの魅力 9・10P

◆情報to(通) ●患者用駐車場のシステムが新しくなりました 11P

◆助くシフト! <特定行為研修を修了した看護師の紹介
糖尿病看護特定認定看護師 平岡めぐみ> 12P

◆病診連携登録医 <やなもと内科・内視鏡内科> 13・14P
<ひだまり内科クリニック>

◆自遊自在<読めたらスゴい!難読漢字編> 15P

管理栄養士が考える旬の健康食 16P

◆おすすめ!!「季節を食す」

◆外来診療担当表 17・18P

地域で始まった「遠隔医療」技術とアイデアで都市部とのレベル平準化を図る」をご覧ください。そして、地域で培った力を四日市市の皆様に還元すべく、再び当院へ戻ってきました。

専門は先の通り、消化器内科です。消化器内科は臓器の守備範囲が広く、口から肛門までの消化管（食道・胃・小腸・大腸）だけでなく、肝臓・胆道・膵臓などのいわゆる実質臓器も診療範囲に含まれます。多種多様な疾患を生じうる、これら臓器ですが、今回は中でも、日本人の死因第1位である「悪性新生物」いわゆる「癌」に注目したいと思います。

「癌」といっても発生部位は様々ですが、統計データから2022年の男女計の癌死亡数の上位5位の内、1位以外はすべて消化器系の癌となっております。とりわけ日本は消化器癌の発生率が高い国であるため、早期診断が非常に重要です。当院でも、CTやMRI等の画像

や深達度に応じた内視鏡治療により、内側から癌や前癌病変を切除することが可能であり、近年、当院でも内視鏡治療、特にESDの件数は年々増加傾向にあります。当院ではこれらの内視鏡手技を確かなものとすべく、最新の高解像度内視鏡やNBI（狭帯域光観察）など、より専門性の高い技術の導入も行ってまいります。

胆膵領域の癌と内視鏡治療



胆道癌や膵癌は早期発見が難しい一方で、迅速かつ的確な診断と治療が重要です。当院では、胆管や膵管に造影剤を注入することで病変の同定を行う逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）や、さらに詳細に胆管・膵管を直接観察できる極細内視鏡システムである胆道鏡・膵管鏡、胃カメラの先端に超音波機構を組み込んだ超音波内視鏡検査（EUS）など

検査から内視鏡検査なども駆使して消化器癌の早期発見・治療に日々邁進しております。次に胃癌や大腸癌などの消化管癌、胆道癌や膵癌などの胆膵領域、肝臓癌と3つに分けて、実際の検査・治療内容を皆様にお伝えできればと思います。

消化管癌と内視鏡治療



消化管癌の多くは早期段階では無症状のことが多く、気付いたときには進行しているケースが少なくありません。しかし、早期に発見できれば、内視鏡治療（内視鏡的粘膜切除術：EMRや内視鏡的粘膜下層剥離術：ESDなど）や低侵襲の手術で根治を目指せます。このため定期的な内視鏡検査を受けることが重要です。また内視鏡検査では消化管内部を直接観察することで癌や前癌病変を正確に発見できるだけでなく、サイズ

を用いた精密検査を積極的に行っており、胆膵領域の病変を高い精度で診断しています。また、超音波内視鏡下での細胞診やドレナージといった高度な介入処置も実施しており、年々その実績を積み重ねています。これにより、早期診断だけでなく、外科手術が難しい症例でも患者さんに最適な治療を提供することが可能です。

肝臓癌と最新の治療



肝臓癌も先の癌同様、早期発見と適切な治療が患者さんの予後を大きく左右します。当院では、肝臓癌に対してラジオ波焼灼療法（RFA）や肝動脈化学塞栓療法（TACE）といった低侵襲な治療を積極的に行っています。RFAは高周波を用いて癌を焼灼する治療で、外科手術を回避できる場合も多く、患者さんの負担が少ないのが特徴です。また、

2022年度 がん死亡数統計データ

	1位	2位	3位	4位	5位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

元データ：人口動態統計がん死亡データ

TACEは肝動脈から抗がん剤を直接注入し、がん細胞の増殖を抑える治療法で、進行癌に対しても効果的で、近年、TACEと化学療法法の組み合わせも注目されています。また癌や肝硬変に伴う合併症である、腹水貯留や静脈瘤に対しても投薬管理や内視鏡的静脈結紮術（EVL）などの治療を組み合わせることで日常生活が問題なく送れるよう最適な治療提供を心がけています。

最後に



消化器癌は早期に発見すれば、ほとんどの場合で根治を目指すことが可能です。当院では、一般的な画像・内視鏡検査に加え、より高度な検査法を駆使し、患者さん一人ひとりに合わせた最適な医療をご提供します。ぜひ当院消化器内科を健康維持にお役立てください。私たちは皆様の健康を全力でサポートします。

2 逆行性胆管膵管造影(ERCP)

ERCPは、内視鏡とX線を併用し、胆管や膵管の病変を診断・治療する手技です。口から内視鏡を挿入し、十二指腸乳頭という胆管・膵管の出口にカテーテルを挿入して造影剤を注入することで、胆管や膵管の状態を詳細に確認します。また、このカテーテルを介して胆管内に詰まった結石をバスケットで取り除く、狭窄があればステントを挿入し胆汁や膵液の流れを改善する、閉塞性黄疸を緩和するなどの治療を行います。対象疾患としては、胆石症、胆管癌、膵癌、膵炎、閉塞性黄疸などが挙げられます。ERCPは、胆管や膵管疾患に対する標準的な治療法で迅速な症状の改善が期待できます。

3 インターベンショナル超音波内視鏡 (interventional EUS)

インターベンショナルEUSは、超音波内視鏡を用いて膵臓や胆管など体の深部を観察しながら治療を行う高度な手技です。内視鏡先端に超音波プローブを搭載し、体内の臓器を詳細に映像化することで正確な診断と治療を実現します。超音波で病変を確認後、細い針で病変部を刺して組織を採取(EUS-FNA)したり、膿瘍やのう胞、あるいは腫瘍による胆汁・膵液排出障害がある場合は、ドレナージ(排液)を行い、ステントを挿入し胆管・膵管の流れを改善します。対象疾患としては、膵癌、胆管癌、膵のう胞、胆嚢炎、閉塞性黄疸などが挙げられます。従来は外科手術が必要だった疾患にも対応でき、患者さんの負担を大幅に軽減します。

～最新の内視鏡治療について～

ここでは、先にお話した消化器内科の診療に関わる検査、治療の中でも、内視鏡を用いた検査、治療に焦点を当ててお話しします。内視鏡治療は、患者さんの体への負担を最小限に抑えつつ、消化器疾患の診断と治療を行う方法として大きく進歩しています。当院では、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)、そしてインターベンショナル超音波内視鏡といった最先端の手技を体得・活用し、幅広い疾患に対応しています。それぞれの治療法について簡単にご説明します。

1 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)

ESDは、早期胃癌や早期大腸癌などの粘膜内病変を内視鏡で切除する手技です。口や肛門から挿入した内視鏡に専用のナイフを装着し、病変の周囲に液体を注入して粘膜を持ち上げ、病変を剥がすように切除します。病変の大きさや形状に関わらず、周囲の健康な組織を出来るだけ温存しつつ切除可能であることが特徴です。対象疾患としては早期の胃癌、大腸癌、食道癌や前癌病変となりうるポリープなどです。消化管内で治療が完結するため、外科手術のように皮膚を切ったり、縫ったりといった体への負担は少なく、入院期間も数日で済むため、患者さんの日常生活への影響を最小限に抑えます。

ホッ!得

今回の話題

肝臓の硬さを超音波エラストグラフィでチェックしよう!
 近年普及しつつある肝臓の超音波エラストグラフィについて

肝臓ってどんな臓器?

肝臓は人体で最も大きな臓器で重さは1〜1.5キログラムあります。主な働きは3つあり、1つ目は栄養素の貯蔵や合成、2つ目は有害物質の解毒や分解、3つ目は消化に必要な胆汁の生成と分泌です。肝臓には痛みを感じる神経がないため、病気でその働きが損なわれても、症状が現れにくく、「沈黙の臓器」と呼ばれています。

肝臓が硬くなる過程とは

ウイルス感染、過剰なアルコール摂取、薬の副作用、自己免疫性疾患など、さまざまな要因で肝臓にダメージが生じると「肝炎」という状態となり、肝細胞が壊れていきます。さらに、この状態が長く続くと、肝細胞の破壊と修復が繰

り返され、肝臓が「硬く」なりま(す(肝繊維化))。最終的には肝硬変となり、肝がんを発症しやすくなってしまう。

なぜ肝臓の硬さを測定するのか?

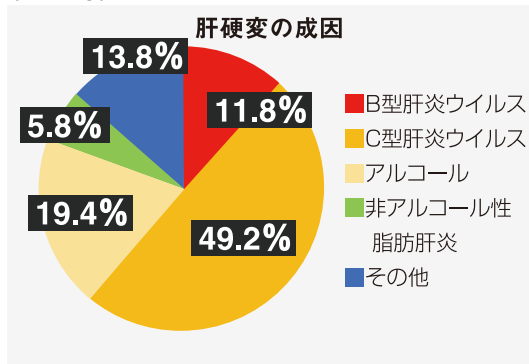
肝硬変や肝がんへ進行する前に、肝臓の硬さ(肝繊維化)を測定することににより、早期に予防、治療方針決定や予後の見極めなどが可能となります。

炎症の原因(グラフ①)

C型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルス、アルコールの飲みすぎ、非アルコール性脂肪肝炎、肥満、糖尿病など



〈グラフ①〉



肝臓の硬さを超音波で評価

肝臓の状態を画像として確認する方法はCT検査、MRI検査、超音波検査、核医学検査など複数の検査方法がありますが、MRI検査と超音波検査では肝臓の硬さを

ください。

や肝がんに行進することがあります。たかが「脂肪肝」と笑ってはいただけません。脂肪肝も重大な病気へ進行する可能性があるため注意が必要です。

定期的に肝臓をチェックしよう

肝臓は「沈黙の臓器」です。定期的に肝臓の声を聴いてみてはいかがでしょう?健康診断の腹部超音波検査で脂肪肝、採血の結果で肝臓の数値が悪い方、お酒をたくさん飲まれる方は、ぜひ肝臓専門医に相談してみてください。

肝臓の健康を守るために日々のケアを心がけましょう!

脂肪肝にも注意

最近、運動不足や食生活の乱れで脂肪肝になる人が増えています。特に糖尿病など代謝異常が原因で炎症を伴うタイプの脂肪肝は、長期間放置すると肝硬変

〈写真1〉



接、肝臓の細胞を採取する検査)に代わる診断方法として有用視されています。

脂肪肝にも注意

最近、運動不足や食生活の乱れで脂肪肝になる人が増えています。特に糖尿病など代謝異常が原因で炎症を伴うタイプの脂肪肝は、長期間放置すると肝硬変

数値化して評価できるエラストグラフィという機能があります。ここでは超音波によるエラストグラフィをご紹介します。

超音波エラストグラフィには2つの方法があります。1つ目は、肝臓の歪みの度合いを測定する「ストレーンエラストグラフィ」。2つ目は、特殊な超音波を送信して発生した、せん断波が伝わる速度を測定する「シエアウエーブエラストグラフィ」です。この測定結果は、肝臓の硬さ(肝繊維化)と関連性が認められ、病気の進行度を把握する上で有用です。

写真1「エラストグラフィ」の検査を行っている様子です。超音波の機械をわき腹に当てて、息止めを何度か行い、おおよそ10分ぐらいで測定できます。このように、体への負担が少なく、簡単に繰り返し検査ができるため、経過観察が必要な方にとって非常に役立ちます。また、この点からも肝生検(直

〈表1〉

慢性肝炎、肝硬変の診断に有用な検査	
肝生検	肝臓に針を刺して、その一部を採取し、顕微鏡で観察する。
肝繊維化マーカー	採血で可能。さまざまな項目を測定する。
Fib4-index	ASTとALT、血小板、年齢から算出される繊維化を表したスコアリングシステム。

※肝臓の硬さ(肝繊維化)の従来の評価法(表1)肝生検:一般的に選択されることが多い検査、侵襲的であり疼痛や出血の可能性があることや、サンサンプリングエラーの可能性もあります。肝繊維化マーカー:採血で可能。しかし、肝臓以外の要素が影響する可能性もあります。

私が伝えたい はづの魅力

I love yokkaichi.



好きな言葉
「意なく必なく
固なく我なし」

薬剤部 副薬剤部長
野田 晋司

令和6年4月より所属長に任命されました薬剤部副部長の野田と申します。これまで、大学病院やJCHO系列病院勤務などを経て24年以上が経過しました。大学病院からの転職当初は、戸惑う事が多かったのですが、その中でも特に大きく違うと感じたのは、各職種間の敷居の低さです。言い換えれば、その距離感の近さです。さらに、コメディカルスタッフの意識の高さは大学病院を凌ぐのではないかと感じています。そのような土壌がある中で、私が所属する薬剤部では、医療安全に貢献する為、医師・看護師を始め全てのコメディカルスタッフからの相談を常時受け入れています。さらに入院中の患者さんへは、薬物療法が最適になるような支援を行い、外来患者さんへは、主に薬剤導入時（抗がん剤、自己注射製剤など）に説明を行っています。これからも患者さんが安心かつ満足できる薬物療法に貢献できるように日々業務に尽力していきたいと思っています。

私は入院患者さんへの食事提供、栄養相談などを担当しています。病気で食事の制限があるといい、あれもダメ、これもダメ、と否定的な気持ちになりがちです。そんな時に「代わりにこういう物はどうですか?」「こんな食べ方ができますよ」など、更なる提案をすることが管理栄養士として大切だと思っています。患者さんから「相談してよかった」「これならできる」とお言葉をいただく、とても嬉しく励みになります。これからも患者さんとの会話を大切に、悩みや不安に寄り添い、その方の生活がより充実したものになるよう努めていきます。

好きな言葉
栄養管理室 管理栄養士 松島 朱里

「人間万事塞翁が馬」



手術室 看護師
因幡 美檜

好きな言葉
「笑顔」



4月から手術室で勤務している新人看護師です。手術室では、患者さんの人生にとって大切な手術を行っています。私たち手術室看護師は、「大切なあなたに寄り添いたい」を合言葉に患者さんに関わっています。手術を受ける患者さんは恐怖心や不安感、または期待といったさまざまな思いを持っています。その一人ひとりの思いに寄り添うことを大切にしています。

また、手術室スタッフは明るく笑顔が溢れています。これからも笑顔で患者さんに寄り添うことができる看護を続けていきたいです。

外科病棟に配属されてから数年、患者さんと関わる中でどの患者さんにも不安があり、助けを求めている事に気が付きました。その思いを聞き出すためには信頼関係の構築が必要不可欠であり、信頼を得るためには羽津医療センターの強みである相談しやすい環境作りを始めとした知識・技術・態度の中での誠実性を示す必要があると思っています。私自身、チーム医療の一員として患者さんのニーズに合わせた看護の実践に向けて、自分のレベルアップをはじめとした誠実さの体現が出来るように日々の看護に努めています。

4病棟 看護師 土田 里奈

好きな言葉
「誠実」



医事課外来係長
石澤 敬子

好きな言葉
「笑顔」



今年度より医事課外来係長として赴任してきました。社会保険病院の頃に入職しJCHOとなつてはじめての県外転勤となりました。通勤から何もかもにおいて緊張の毎日です。そんな私に医事課の皆様は笑顔でいろいろ教えてくださることにとても感謝をしています。この病院のよいところはそのやさしさだと思います。先輩職員の優しい見守りにより、若いスタッフがよりよく成長していくのだと思います。心のゆとりは患者さんへの態度にも現れます。四日市羽津医療センターの職員は優秀な職員が多いといわれるように取り組みたいと思います。今後とも宜しく願います。

特定行為研修を修了した 看護師のご紹介



糖尿病センター・健康管理センター 看護師長
糖尿病看護特定認定看護師 平岡めぐみ



【認定看護分野】

糖尿病看護認定看護師

【修了した特定行為区分】

- ・インスリン投与量の調整
- ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- ・脱水症状に対する輸液による補正

特定看護師は、特定の医行為において医師の指示を待たずに、手順書に基づいてタイムリーな処置・ケアができることで患者さんに有益な医療を提供することが期待されています。

私は2009年に糖尿病認定看護師を取得後、2020年に「特定行為研修」を修了し、糖尿病看護特定認定看護師となりました。糖尿病特定認定看護師とは、糖尿病看護に関する専門的な知識と技術を修得し、糖尿病患者さんが合併症の発症・進展を最小限に抑え豊かな生活を送れるように支援する看護師です。特定行為研修「インスリン投与量の調整」を修了したことで、患者さんの生活に合わせたインスリン量の調整を行うことが出来るようになりました。

最近では当院に併設する老人保健施設に入居されている高齢糖尿病患者さんのインスリンや内服薬の調整に関わらせて頂いています。高齢糖尿病患者さんは多く病気を多く持ち合わせており、病態の変化や食事摂取のムラなどから血糖コントロールが不安定になります。家庭と同様である老人保健施設においては、頻回な血液検査を行うことができず、専門医の常駐がないことから、低血糖や高血糖に対しタイムリーなインスリ

ン量や薬剤の調整が行えない現状にあります。しかし、当院では、施設医と糖尿病内科医の承認を得ながら手順書を作成し、特定行為として薬剤調整を行っています。

食事のムラに対しては、摂取量に合わせたインスリン単位の変更や注射タイミングを食後打ちへ変更したり、食事に影響しない注射に切り替えたり、時には注射から内服薬へ変更するなど、医師と相談しながら行っています。また高齢糖尿病患者さん個々の治療に対する思いを大切にしています。医療者が判断する一方的な注射や血糖測定の中止は、時に患者さんの生命力を奪ってしまうこともあります。どのような治療を望んでいるかをしっかりと聞き、患者さんを中心としたチームで治療方針を考えることが重要です。このような医療行為の判断には、病態の変化だけでなく、日常の姿を熟知している施設職員の皆さんから得られる生活の様子が何より重要な判断要素となっています。

医師不足や高齢化社会が深刻となる現代において、糖尿病薬だけを調整するのではなく、ご本人の望みを聞き「生活」と「治療」の両側面から支援していけるように心がけています。

情報to通



令和6年
7/1より

患者用駐車場のシステムが 新しくなりました

新たなシステムでは、入庫時にナンバープレートカメラで認識し、駐車料金の管理を行います。料金の精算は、退場する前に敷地内の精算機で済ませる仕様になりました。従来のような車に乗りながらの処理が無くなり、速やかかつ安全に出入庫できるようになりました。

ご利用時のポイントは下記のとおりです。

- ①入口での駐車券の発券はありません。そのままお進みください。
- ②精算の際に車両のナンバーの入力があります。覚えておくと精算がスムーズです。
- ③お車に戻る前に、精算機にて精算をお願いいたします。精算機は、正面入口横、東出入口、患者用第二駐車場の3か所に設置しております。
- ④車両ナンバーを入力し、表示されたご自身の車両の写真を選択して精算を行ってください。サービス券をお持ちの方は、サービス券に記載されているQRコードを精算機の読み取り部分にかざしてください。
- ⑤精算後、一定時間が経過すると再度駐車料金が発生します。ご注意ください。
- ⑥出口には、安全のために従来どおりゲートバーを設置しています。通過の際は自動で上がります。

病院付近の道路は、地域の方や登下校中の小中学生が多く利用しております。お車をご利用の際は、安全運転でお越しく下さい。

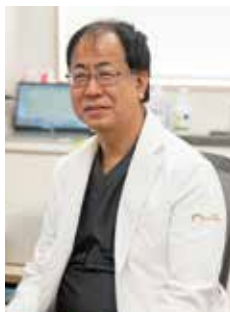


病診連携登録医

地域の病院・クリニックをご紹介します

ひだまり内科クリニック

この街の人々が笑顔で健康でいられるよう
全力を尽くしてまいります



院長 伊藤 公人

診療科目

- 内科
- 循環器内科
- 血液内科
- 皮膚科

当院は2024年4月に北勢地域の「かみえび診療所」を継承し開業しました。内科、循環器内科、血液内科、皮膚科を標榜し、地域のかかりつけ医として日々の診療にあたらせて頂いております。当院は東海環状自動車道の東員ICと東名阪自動車道の四日市東ICのちょうど中間地点に位置しており、高速道路でどちらから降りたほうがいいのか迷います。

勤務医の頃には診療の質を高めるために、緩和ケアやHIV/AIDS診療など様々な領域についても研鑽をすすめておりました。クリニックで患者様を診させていただく中でこ

れまでに修得したことを生かし、地域の方の健康維持のために尽力していく所存です。

地域医療連携は患者様の診療の質向上に寄与する非常に有力な手段であると考えております。画像検査や入院加療が必要な患者様がおみえになる場合、羽津医療センター様にはすでに多くの方をご紹介させていただいておられますが、いつも驚くほど丁寧かつ迅速に御対応いただいております。この場をお借りして心より御礼申し上げます。羽津医療センター様と今後もしっかりと連携をさせて頂き、市民の方が安心して暮らしていくことができるよう全力を尽くしてまいります。

診療時間・曜日	月	火	水	木	金	土	日
AM9:00~PM12:00	●	●	△	●	●	●	△
PM3:30~PM6:30	●	●	△	●	●	●	△

休診日/水曜・土曜午後・日曜・祝日

TEL 059-325-2277

〒512-1301

四日市市上海老町1633-140

<https://www.hidamari-naika.com/home>



病診連携登録医

地域の病院・クリニックをご紹介します

やなもと内科・内視鏡内科

内科、消化器内科の診療から、特定健診や発熱外来まで
幅広く対応させていただいております



院長 柳本 研一郎

診療科目

- 内科
- 消化器内科

やなもと内科・内視鏡内科は四日市市萱生町に2023年7月に開院したクリニックです。内科、消化器内科の診療を基本としております。まず小生が専門としている消化器内科においては腹部エコーおよび上下部内視鏡検査を施行しております。下部消化管内視鏡検査では約1cm未満の大腸ポリープについてはcold polypectomyを施行されることが最近多くなってきており、当院でもCSA (cold snare polypectomy) やCFA (cold forceps polypectomy) を積極的に施行しております。また上部消化管内視鏡検査において胃癌

検診を当院でも施行しており、四日市医師会様のご協力のもと円滑に行われているものと考えております。さらに一般内科につきまして特定健診や発熱外来も行っており、感染症の診断および治療を行っております。また当院ではウナギやワタリガニ、スッポン(今年度捕獲したスッポンは残念ながら泥抜き中に逃走し、道路上で非業の死を遂げました)の捕獲にも力を入れておりますのでご興味のある方はぜひ受付でお声がけいただけたらと思います。これからも地域医療に微力ではございますが貢献できればと考えておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

診療時間・曜日	月	火	水	木	金	土	日
AM9:00~PM12:00	●	●	●	●	●	●	△
PM3:00~PM5:30	●	●	●	△	●	●	△

休診日/木曜午後、土曜午後、日祝日

TEL 059-338-8710

〒512-8045

四日市市萱生町581

<https://yanamoto-naika.com/>



●外来診療担当表

2025年1月1日現在の外来担当医表です

担当医表は変更する場合がありますので詳しくはホームページをご覧ください

診療科		月	火	水	木	金
内科	初診	井本 一郎 消化器科・一般	杉本 龍亮 消化器科・一般	岩佐 元雄 消化器科・一般	渡辺 省三 消化器科・一般	早田有希 消化器科・一般
		宮尾 遼 消化器科・一般	長嶋 一訓 糖尿病・一般	吉原 彰宏 糖尿病・一般	奥山 圭介 糖尿病・一般	堅田 貴大 糖尿病・一般
消化器内科	初診	中島 滋人	樋口 国博	森田 翔一	阪口 亮平	青田 紗季
		樋口 国博 再診予約	竹井 謙之 PM 予約	阪口 亮平 再診予約	中島 滋人 再診予約	樋口 国博 AM 再診予約
	再診	山脇 真 PM 再診予約	長谷川 浩司 再診予約		森田 翔一 PM再診予約	
					青田 紗季 PM再診予約	
					渡辺 省三 PM再診予約	
			宮尾 遼 PM再診予約			
循環器科		山中 崇 初診	山中 崇 初診			山中 崇 初診
		山中 崇 再診予約	山中 崇 再診予約	川村 正樹 再診予約		山中 崇 再診予約
		杉浦 武 PM 再診予約	杉浦 武 PM 再診予約			
リウマチ膠原病内科		※リウマチ膠原病内科は完全予約制です。 紹介元医療機関さまから地域連携室を通じ予約取得が必要です。				小寺 仁 予約
呼吸器科	鶴賀 龍樹 初再診	小林 哲 初再診 診察受付 10:00まで	藤原 拓海 初再診	都丸 敦史 予約診察 SAS		吉田 正道 初再診
		※火曜日の受付は8:00~10:00で締め切ります。				古橋 一樹 PM再診予約
腎臓内科	三宅 真人 初再診	水谷 安秀 食事指導外来 (月1回)	水谷 安秀 再診予約	三宅 真人 再診予約		
糖尿病・内分泌内科	三好 美穂 AM初再診	住田 安弘 AM再診予約	安間 太郎 AM再診予約	三好 美穂 AM再診予約	奥山 圭介 再診予約	
火~金の初診外来につ きましては内科初診担 当欄をご参照ください	吉原 彰宏 AM再診予約	三好 美穂 AM再診予約	奥山 圭介 再診予約	吉原 彰宏 AM再診		
	堅田 貴大 AM初再診	CGM外来 1400~15:00				
		堅田 貴大 AM再診予約				
脳神経内科	朝日 理 PM 再診予約	朝日 理 予約	田村 麻子 AM 予約	小川 愛 予約(物忘れ中心外来)		朝日 理 再診予約
		※脳神経内科は完全予約制です。 紹介元医療機関さまから地域連携室を通じ予約取得が必要です。				

※初診の患者様は の曜日に受診していただきますようお願い致します。(予約は不要です。)

※外来受付は8:00~11:00までとなります。

診療科	月	火	水	木	金
外科 大腸肛門病 (IBD) センター	山本 隆行 IBD紹介PM予約	松本 好市 紹介再診予約	梅枝 寛 紹介再診予約	梅枝 寛 紹介予約	山本 隆行 IBD紹介予約
	中山 茂樹 初診	西川 隆太郎 AM初再診PM再診	堀 智英 初診	山本 隆行 IBD紹介PM予約	西川 隆太郎 再診予約
	岩永 孝雄 再診予約			中山 茂樹 再診予約	下山 貴寛 AM初再診PM再診
	下山 貴寛 IBD紹介予約再診			岩永 孝雄 再診予約	堀 智英 再診
				下山 貴寛 初再診	
	※山本医師、梅枝医師診察は完全予約制。紹介元医療機関 から地域連携室を通じて予約取得が必要です。				鳥井 孝宏 初再診
乳腺外科	北川 達士 初再診	北川 達士 初再診	鈴木 桜子 AM乳腺初再診 PM乳腺予約		
				鈴木 桜子 PM乳腺予約	
ペインクリニック	※完全予約制。紹介元医療機関から 地域連携室を通じて予約取得が必要です。		坂倉 幸子 9:30~ 予約		
緩和ケア外来・地域包括ケア外来	※完全予約制。紹介元医療機関から 地域連携室を通じて予約取得が必要です。		石井 雅昭 予約		石井 雅昭 予約
小児科	三重大病院医師 午前初再診	担当医 午前初再診		担当医 午前初再診	
	担当医 PM予約のみ		三重大病院医師 午後診察予約のみ		担当医 午後診察予約のみ
整形外科	小川 明人 再診予約	瀧川 慎也 AM再診予約	岩崎 竜也 AM再診予約	担当医 初再診	後藤 信二 初再診
	瀧川 慎也 初再診	岩崎 竜也 初再診	後藤 信二 初再診	※木曜日HOPEの 都合で外来診察医師 が変わります。	岩崎 竜也 再診
	※月曜日HOPE日の ため、初診受付は 11:00で締め切り となります。		小川・瀧川 PM再診予約 岩崎・後藤 PM再診予約	※木曜日HOPE日の ため、初診受付は 11:00で締め切り となります。	
産婦人科	中 淳 初再診 ~11:00	樋口 恭仁子 初再診	中 淳 初再診	樋口 恭仁子 初再診	中 淳 初再診
		中 淳 PM再診予約	中 淳 PM再診予約		米村 幸男 PM再診予約
	※月曜日の受付は8:00~11:00で締め切りとなります。				
泌尿器科	加藤 貴裕 初再診~10:30 ※月水金の受付は8:00~ 10:30で締め切りとなります。	小川 和彦 初再診	小川 和彦 初診~10:30	小川 和彦 初再診	加藤 貴裕 初再診~10:30
眼科	中野 めぐみ 初再診	中野 めぐみ 初再診~11:00	中野 めぐみ 初再診	中野 めぐみ 初再診	中野 めぐみ 初再診
	原田 純直 初再診 第1・2・4・5月曜日		加島 悠然 初再診		
	※火曜日の受付は8:00~11:00で締め切りとなります。				
耳鼻咽喉科	石永 一 初再診	間島 雄一 初再診			
皮膚科		渡邊 清未 初再診			波部 幸司 初再診
総合健診科	岩村 康一AM 健診後完全予約	岩村 康一AM 健診後完全予約	北川達士AM 健診後完全予約	杉村 芳樹AM 健診後完全予約	北川達士AM 健診後完全予約
			渡辺 省三PM 健診後完全予約	北川達士AM 健診後完全予約	

※外来受付は8:00~11:30までとなります。